

2025 年度 第 4 回理事会 議事録

2025 年 7 月 10 日（木）19 時 30 分、WEB 上にて理事会を開催した。

定刻に、副会長 伊藤伸氏が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数	28 名
本日の出席理事数	26 名
監事総数	2 名
本日の出席監事数	1 名

■出席役員：会長）宇田英幸 副会長）伊藤伸、平田樹伸 理事）赤間公一、犬塚功一、江原友樹、大橋幸子、岡部拓大、押野修司、加藤恒平、北村ミチル、桑原陽子、小池祐士、神山真美、佐々木竜也、鈴木香織、鈴木康子、高橋啓吾、館岡周平、種沢浩平、近森貴裕、内藤大佑、原裕如、藤田真弓、丸達也、渡部慶和
監事）西田典史

■委任役員：理事）阪井之哉、吉田朋子

■欠席役員：監事）岡田洋一

■他出席：法人管理部）嘉成望

■他欠席：敬称略

■議 題：

I. 審議・検討事項【発案者：敬称略】

第 1 号議案 2025 年度 第 3 回 理事会議事録について【法人管理部：嘉成】（資料 1）

＊修正案を確認し、一部修正後満場一致で可決された。

第 2 号議案 第 35 回埼玉県作業療法学会 学会長・日程・会場について【学会支援：小池】（資料 2）

第 35 回埼玉県作業療法学会について、以下の通りに開催したい。

日程：2026 年 7 月 12 日（日）

学会長：花房 謙一氏（目白大学）

会場：目白大学（さいたま市岩槻区）

＊満場一致で可決された。

第 3 号議案 広報誌「彩り」2025 年夏号発行について【広報部：近森】（資料 3）

＊内容を確認し、発行に関して満場一致で可決された。

HP への掲載を進めていく。

第 4 号議案 会長（代表理事）の選定、副会長（副代表理事）の選出について（定款第 12 条）【法人管理部：大橋】

定款に則って会長・副会長の選出。

＊会長（代表理事）：宇田英幸理事が推薦され、満場一致で可決された。

＊副会長：伊藤伸理事・平田樹伸理事の 2 名が推薦され、満場一致で可決された。

第5号議案 パートタイマー退職金規程について【法人管理部：大橋】（資料4-1.4-2）

パートタイマー等特別退職金規定を策定したい。

「シンプル案」と「しっかり案」の2案出され、内容の差は勤務状況に応じた規定内容を明記したものとなる。

算定方法の確認を行い、伊藤さんに対しての退職金の額面を確認。その際、功労加算を付けて60万円で給付したいという意向である。

規程は、「シンプル案」および「しっかり案」で採決をとり、「しっかり案」および功労加算をつけることで、満場一致で可決された。

事務部伊藤氏の退職金は試算で560,560円＋功労加算39,440円で600,000円支払いを行うことで、承認された。

第6号議案 定年後継続雇用者の基準に関する労使協定および時給について【法人管理部：大橋】

伊藤さんの雇用契約書内容を確認。

65歳までの継続雇用は義務付けられているが、パートタイマーは個別の雇用契約と就業規則に基づき雇用が継続される。そのため事務部の伊藤氏と雇用契約を結びたい。有給の検討も思案中。

雇用期間は誕生日から1年契約として、昇給はなしとしていきたい。

一般的に定年で6割支給だと924円で最低賃金を割ってしまう。7割1,078円、8割1,232円、9割1,386円の試算となる。

＊雇用契約を更新し、現行の1,540円の時給とすることを、満場一致で可決された。

第7号議案 ねんりんピック彩の国さいたま2026健康フェア担当部署について【法人管理部：大橋】（資料5）

2026年11月7日にねんりんピックが開催され、11月7～9日に健康フェアが開催される。

OT学会と日程が重複する可能性がある。埼玉県士会全体で進めていきたい。日当についても検討していく必要があるのではないかと思案中である。

埼玉県より埼玉県作業療法士会に参加要請があり、担当部署を決めたい。

＊地域リハ推進部（館岡理事）が担当することが、満場一致で可決された。

II. 報告・確認事項

1. 各部局活動報告

1) 事務局長：大橋事務局長より以下の報告があった。

- ・6月15日（日）2025年度定時社員総会開催した。

2) 法人管理部：大橋部長より以下の報告があった。

- ・2025・2026年度代議員へ、委嘱状・公文書発行した。
- ・6月15日（日）2025年度定時社員総会にて、新理事・監事が承認された。
- ・埼玉県福祉部担当部署と、2026年度ねんりんピックの健康フェアに関する打ち合わせ。
- ・事務職員退職金規程、再雇用契約に関する原案を作成した。

3) 総務部：丸理事より以下の報告があった。

- ・役員登記の準備を進めている。
- ・・・役員登記・未入力の方は、記載し次第公文書発行する。

- 4) 財務部：北村理事より以下の報告があった。
- ・通帳の返却順次実施している。
 - ・事務局多忙のため、会計報告の依頼が通常の年より遅れております。ご了承ください。
- 5) 学術部・編集委員会：押野理事より以下の報告があった。
- 編集委員会：学術誌「作業療法学芸雑誌」の査読委員の委嘱状、兼業依頼書の事務を行った。
学術誌「作業療法学芸雑誌」第3巻の表紙の原稿料の支払いの事務を実施した。
- 6) 学会支援委員会：小池理事より以下の報告があった。
- 第34回埼玉県作業療学会は、とても多くの方々にご参加いただき、大盛況に終了した。ご支援ご協力、そしてご参加いただきました皆様ありがとうございました。
- ・参加者数：280名（会員204名、非会員50名、一般・学生：26名）
 - ・演題発表者：32名
 - ・最優秀賞：小林唯（埼玉県総合リハビリテーションセンター）。
パーキンソン病患者のOFF時の意志伝達に介入した症例。
 - ・優秀賞：立川智也（越谷誠和病院）、高田夏美（武里病院）、
中村萌衣（埼玉県総合リハビリテーションセンター）、
福澤伊織（狭山尚寿会病院）、君嶋実夢（越谷誠和病院）
- 第35回埼玉県作業療学会 開催日：2026年7月12日（日）（予定） 会場：目白大学
学会長：花房謙一（目白大学）。
- 7) 教育部：鈴木香織理事より以下の報告があった。
- ・受講ポイント付与に関する協会のサイトを更新中となっている。ポイント付与に時間を要することをご了承ください。
- 8) 生涯教育委員会：神山理事より以下の報告があった。
- 現職者共通研修、選択研修の開催準備を進めている。
- 【共通研修】
- 8月21日（木） 職業倫理、8月26日（火）事例報告と事例研究、
9月12日（金） 実践のための作業療法研究法、9月30日（火） 作業療法の可能性
- 【選択研修】
- 8月31日（日） 発達障害領域の作業療法、10月5日（日） 身体障害領域の作業療法
- 9) 養成教育委員会：岡部理事より以下の報告があった。
- ・7月26・27日臨床実習指導者講習会開催予定。
 - ・12月の参加者が余裕がある状況
- 10) 職能開発事業部：藤田理事より以下の報告があった。
- 一般社団法人 日本脳卒中医療ケア従事者連合（SCPA-Japan）埼玉支部の作業療法士窓口としての報告事項 京都大学から SCPA Japan（日本脳卒中医療ケア従事者連合）の第二回全国大会の案内が届き、参加する予定。
- 日時：2025年9月9日17:00-19:00 会場：オンライン
内容：講演1 脳卒中学会理事長 藤本茂「脳卒中窓口の展開～脳卒中療養相談士・マニュアル・脳卒中相談窓口実績報告～」

講演 2 京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター榎戸真弓「第一回脳卒中相談窓口
全国大会報告」

理事長報告 京都大学医学部附属病院 脳卒中療養支援センター宮本享 「脳卒中・心臓病等
総合支援センター事業と研究班にもとづく多職種連携の展開」

社員団体からの指定発言

埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会 委員としての連絡事項(埼玉県保健
医療部疾病対策課所轄)・・・なし。

11) 広報部：近森理事より以下の報告があった。

広報誌「彩り」2025 年夏号アナウンスしていく。

2025 年秋号は先日の県士会学会特集で、取材を計画中。

夏キャンでの広報誌の配布のご協力お願いしている。

10 月 1 日 第 1 回 広報部 Presents「伝わる！見やすい！プレゼン資料のつくり方」

12) 地域リハ推進部：館岡理事より以下の報告があった。

・10 月 25 日（土）彩の国リハビリテーションフェスタ 2025 秋を開催予定。

場所：東部地域振興ふれあい拠点施設「ふれあいキューブ」

各職種体験ブース内容

PT：血管年齢測定とストレッチ、コグニサイズ、ロコモチェック（体力測定）

OT：手工芸つくる・みる、子どもの感覚遊び、日常生活お助けグッズ、ヤカーリング＋
つりゲーム等

ST：ジェスチャーでコミュニケーション、いつまでも安全に『食』を楽しむ！！

・次年度のリハフェスタについて計画中。

・6 月 19 日三士会担当によるリハマップ会議開催。

・HP リニューアルに伴い掲載するバナー等検討。

13) 地域包括ケア推進部：平田理事より以下の報告があった。

・6 月 19 日 2025 年度第 1 回地域事業支援会議参加してきました。市町村担当者配置事業は<
全国> 71.9%

・地域支援事業参画のための士会マネジメント事業 Q & A、「介護予防・日常生活支援総合事業 短期集中予防サービス

(サービス・活動 C) 実践事例集 Ver. 1.0」を公開いたしました！

・ナイトセミナー11 月 20 日（木）19 時 00 分～21 時 00 分・ Zoom 開催

14) 認知症地域支援推進部：宇田理事より以下の報告があった。

・9 月 25 日にアルツハイマー 共催依頼

15) 災害対策部：阪井理事欠席だが、以下の報告があった。

・6 月 16 日 災害リハマニュアル 第 1 回 WG。7 月 10 日 埼玉版 FIMA 打ち合わせを行った。

16) 制度対策部：江原理事より報告事項なし。

17) 各ブロック

東部ブロック：内藤理事より以下の報告があった。

パパママ向けのオープンチャットを開設した。

語ら Night の準備を進めている。

西部ブロック：種沢理事より以下の報告があった。

7月2日 西部ブロック定例会

7月15日 語ら Night 運営ミーティングを行った。

南部ブロック：犬塚理事より以下の報告があった。

次回の学会に向けて会議を始めている。今回の学会は学会長の意向もあり、南部ブロックに限らず、県士会全体で運営スタッフを募りたい。学会運営に興味のある方は声をかけていただきたい。

北部ブロック：桑原氏より以下の報告があった。

7月1日 北部ブロック会議開催。

7月20日 日本医療科学大学と協業の OT 啓蒙活動（ピオニウォーク東松山）

18) 訪問リハビリテーション振興委員会：加藤理事より以下の報告があった。

7/7 訪問 OT 専門研修の打ち合わせ

11月9日 訪問リハ実務者研修会 BASIC コース

3月8日 訪問 OT 専門研修

講師：戸田竜也氏（一般社団法人 SCRAP&BUILD）

19) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋啓吾理事より、以下の報告があった。

8月24日 コラボ研修

9月14日 MTDLP 基礎研修

20) 子ども支援委員会：佐々木理事より報告があった。

研修会について、各グループで準備中です。

現職者選択研修（発達領域）が、8月31日（日）で開催予定です。

7月19日（土）に行う日本作業療法士協会主催の「教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会」へ参加予定。

21) 福祉機器委員会：鈴木康子理事より以下の報告があった。

協会で実施している生活環境支援推進室の事業が、7月7日より一時停止。

14日に会議が開催され参加予定。確認後、県士会会員に情報提供をしていきたい。

22) 高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部理事より以下の報告があった。

基礎研修会のオンデマンド配信について伊藤副会長にご協力頂き、準備を進めている。

8月24日 MDLP×高次脳機能障害コラボ研修会。コラボ研修会に向けて事例作成を行っている。

7月8日（火）第2回全体会を行った。

23) 運転再開支援委員会：赤間理事より以下の報告があった。

事例検討会開催に向けて委員会を7月24日に開催予定。

24) こころとくらしの地域支援推進委員会：原理事より以下の報告があった。

第 34 回埼玉県作業療学会にて「NO SAGYOU.NO LIFE～みんなの作品展示会～」を開催。68 作品番号があり、170 通のメッセージカードが届いた。

6 月 25 日川越少年刑務所プログラム参加

7 月 5 日こくら会議実施

7 月 9 日川越少年刑務所プログラム参加

事例検討会開催に向けて委員会を 7/24 に開催予定

8 月 2 日第 19 回こくら OT 室開催予定

25) 第 34 回埼玉県作業療学会：小池理事より以下の報告があった。

第 34 回埼玉県作業療学会は、とても多くの方々にご参加いただき、大盛況に終了致しました。ご支援ご協力、そしてご参加いただきました皆様ありがとうございました。

- ・参加者数：280 名（会員 204 名、非会員 50 名、一般・学生：26 名）

- ・演題発表者：32 名

- ・最優秀賞：小林唯（埼玉県総合リハビリテーションセンター）、パーキンソン病患者の OFF 時の意志伝達に介入した症例。

- ・優秀賞：立川智也（越谷誠和病院）、高田夏美（武里病院）、中村萌衣（埼玉県総合リハビリテーションセンター）、福澤伊織（狭山尚寿会病院）、君嶋実夢（越谷誠和病院）

26) 埼玉県リハビリ専門職協会・コミュニティネットワーク川越：宇田会長より報告事項なし。

27) 倫理委員会：伊藤理事より以下の報告があった。

倫理委員会委員内諾いただきました（鈴木香織氏、神山真美氏）

第 1 回倫理委員会 7 月 22 日に開催予定で準備中

内容：各種規定、倫理問題に関するフロー、会員への周知方法検討

整備予定の規定：

埼玉県作業療法士会倫理委員会規定

埼玉県作業療法士会倫理問題の処理に関する規定

埼玉県作業療法士会会員の処分の種類に関する規定

埼玉県作業療法士会不服申請調査委員会規定

2. 会長・副会長より

1) 宇田会長より

新体制でのスタートとなりました。新しく理事になられたみなさん、監事のお二人、平田副会長、どうぞよろしくお願いいたします。

もちろん理事を継続してくださるみなさまも引き続きよろしくお願いいたします。頼りにしています。

先日の学会は素晴らしいものでした。新たな試みに果敢に挑む姿勢に感激しました。よい分岐点となったと思います。継承していただけることを望みます。

今年度の活動テーマは、「頼られる作業療法、選ばれる作業療法士」とさせていただきました。これまでの認知症、災害支援、子ども食堂、刑務所などに加え、学校、学童、5 歳時検診、今年中に法案が通れば高次脳機能障害関連のオファーも増えてくると思います。新生涯学修制度が示すように、教育体系も変わっていきますし、リハ業界では PTOT 法の改正への動きが加速しています。みんなで協力してアンテナを広げ、やるべきことを効率的にやっていきましょう。明るく楽しくしなやかに。

<6月報告>

11日 川越少年刑務所 OT プログラム
12日 理事会
15日 総会
19日 お城 de カフェ
21日 越谷のつどい
23日 三団体連絡会（病欠）
28日 令和7年度第1回よんばち・山本協会長接待（病欠）
29日 県学会

<7月予定>

10日 理事会
14日 リハ専協会理事会
17日 お城 de カフェ
23日 川越少年刑務所

2) 平田副会長より

これから副会長という大役であるが皆さんに協力いただきながら運営していきたい。

3) 伊藤副会長より

学会は撮影などをし、リアルタイム配信も行った。子育てや介護などで学会に参加できない方へのハイブリッド開催ができるようにもっていきたい。

3. 監事より

1) 西田監事より

埼玉県士会の理事会に 10 数年ぶりに参加した。監事の立場で参加し、理事会が運営されていることを感じた。

4. その他

江原理事よりご挨拶を行った。

Ⅲ. その他

次回理事会：2025 年 8 月 14 日（木） オンライン会議

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は 21 時 05 分閉会を宣した。

2025 年 7 月 10 日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会